

1面 夜間の救急箱 おとうさん薬局

二俣 雅彦さん

2面 とうがん

3面 新城市設楽原歴史資料館

4面 愛知県立御津おおば高等学校



# 地域に寄り添う身近な存在でありたい 夜間・早朝に営業「おとうさん薬局」

夜間の救急箱 おとうさん薬局 二俣 雅彦さん



豊橋市前田南町にある「おとうさん薬局」。営業時間は午後5時から翌朝午前4時までと独自のスタイルを貫いています。

名古屋市出身の二俣さんは、薬剤師として病院や調剤薬局、ドラッグストアなどで経験を積んだ後、昨年7月に自分のお店をオープンしました。

夜間に営業している調剤薬局は珍しく、処方せん対応や急に体調が悪くなった人に寄り添う形で運営しています。以前から、理想の薬局像を思い描いていた二俣さん。「妻の『夜間の体調不良は誰でも心配なもの。話を聞いてくれるだけでありがたい』の一言が背中を押してくれました」と語ります。局内はポップな壁紙と色合いを基本に、ちゃぶ台のある畳部屋が併設され温かみある照明が印象的。「夜でも気軽に安心して来てもらえる環境を心掛けました。畳スペースは座ってゆっくり話を聞く場として、また体調が

すぐれない方が横になれるように作りました」と二俣さん。急な発熱など体調の異変の問い合わせ、遅い時間の処方せんの受付、休日夜間救急に行くほどではない身体の相談など幅広い対応を行っています。「今までの経験が地元の人役に立てばと思います。『二俣さんからのアドバイスに助けられた』の声が嬉しい」とやりがいを感じているそう。最も大切にしていることは、症状に合わせて適切な判断を行い、臨機応変に対応することだと言います。

今後は地域の病院との連携や情報収集などを積極的に行い共有することに力を入れつつ、ちゃぶ台を挟みお茶を飲みながら相談できる身近な存在を目指し、今宵もおとうさん薬局に温かな灯りをともします。



## 夜間の救急箱 おとうさん薬局

豊橋市前田南町2丁目25-1

TEL:070-1668-1188

FAX:0532-74-3011

営業時間:17:00~4:00 年中無休

HPは「おとうさん薬局」で検索



## 海のまち 山のまち交流スタンプラリー

開催中~令和6年3月8日(金)まで

それぞれのまちの魅力に触れながら、スタンプラリーを楽しめます。抽選で素敵な賞品が当たるチャンスも。ぜひご参加ください!

【海のまちラリースポット】道の駅(田原めっくんはうす、あかばねロコステーション、伊良湖クリスタルポルト)、蔵王山展望台、サンテパルクたはら

【山のまちラリースポット】設楽町:道の駅(つく高原グリーンパーク、アグリステーションなぐら、したら)、田峯特産物直売所・阿南町:道の駅信州新野千石平蔵、阿南温泉かしかの湯、あなん食彩館・宮田村:こまゆき荘、本坊酒造(株)

お問い合わせ 田原市企画部企画課 TEL:0531-23-3507(直通)  
HP:<https://www.city.tahara.aichi.jp/event/sonota/1004911.html>



## ~美術展のご案内~

※詳しくは、ホームページなどをご確認ください。

豊橋市 豊橋市二川宿本陣資料館

### びはく移動展III 末広五十三次

7月22日(土)~8月27日(日)

工事休館中の美術博物館コレクションの一つである「末広五十三次」は、慶応元年(1865)閏5月長州征伐のため上洛する14代将軍徳川家茂の行列を主題としたシリーズで、東海道を京へ向かう物々しい行列や武士の姿、幕末の世相を反映した蒸気船や洋式部装備の兵隊などが描かれています。

2代歌川広重をはじめ鳥瞰図の名手であった五雲亭貞秀など8名の絵師が合作した本シリーズ全55点を一挙に展示します。

【ところ】豊橋市二川町字中町65 【TEL】0532-41-8580  
【開館時間】9:00~17:00(入場16:30まで)  
【休館日】月曜日(8月14日(月)は開館)  
【HP】<http://www.futagawa-honjin.jp/>

豊川市 豊川市桜ヶ丘ミュージアム

### 美術常設展「人をテーマに」

開催中~9月24日(日)

桜ヶ丘ミュージアムでは平成6年から、郷土ゆかりの作家や作品を中心に美術資料の収集活動を行い、常設展示を行っています。

今回は、当館が所蔵する資料の中から、様々な人の表情・一瞬の動きをとらえた絵画を展示し、人のライフサイクルの様々な情景と情景を通して、人生を問う内容です。また、人の拓本などを用いて新たな日本画を追究した星野真吾氏が、学生時代に描いた自画像など、珍しい油絵作品も登場します。

【ところ】豊川市桜ヶ丘町79-2 【TEL】0533-85-3775  
【開館時間】9:00~17:00 【休館日】月曜日(8月7日(月)は開館)  
【HP】<https://www.city.toyokawa.lg.jp/saijibunka/bunka/tenrankai/bunkajousetu20230314.html>

田原市 田原市博物館

### 館蔵 太田洋愛展

開催中~7月30日(日)

田原に生まれた太田洋愛は、ポタニカルアートの第一人者であり、その普及啓発に努めた人物です。洋愛の描き出す草花をお楽しみください。

### 生誕150年 宮川春汀

8月5日(土)~10月1日(日)

宮川春汀は、田原市福江町出身の挿絵画家です。子どもの遊びや生活の様子を描いた作品や美人画などの錦絵も一時期には描きました。生誕150年にあたり春汀の芸術世界をご覧ください。

【ところ】田原市田原町巴江11-1 【TEL】0531-22-1720  
【開館時間】9:00~17:00(入館は16:30まで)  
【休館日】月曜日(祝日の場合は翌平日)  
【HP】<https://www.taharamuseum.gr.jp/>

輝け!  
地元ブランド

## とうがん

豊橋ブランド野菜の一つ

「豊橋なんぶとうがん」は、全国トップクラスの品質で知られている豊橋ブランド野菜です。果実全体を着色し、外観を重視した厳しい選別基準を設けて生産されたとう



がんは、令和4年に地理的表示(GI)登録され、農水省からも認められた産品。JA豊橋管内の南部琉球冬瓜同好会23名によって栽培されています。夏の新たな作物として約38年前から栽培を始めるも、当時はあまり知られていませんでした。しかし、人びとの健康志向の高まりとともに、現在では人気の野菜となりました。

「早生品種をハウスで、晩生品種をトンネル露地で栽培しています。収穫後はとうがん一つひとつをマットの上に並べ、柔らかな日差しに当てながらまんべんなく色を付けるために何度も手で回していきます。こまかなトゲがあるため、出荷の際にきれいにブラシをかけて、ピカピカに仕上げていきます」と同好会長の鷲坂充康さん。

5月下旬から11月下旬まで出荷される同製品は、糖分が少ないので腐りにくく、玉のままであれば長期保存が可能です。肉厚でやわらかくクセもなく、出汁など味が染み込みやすいのが特徴。



おすすめは麻婆とうがんや味噌汁の具、おでん、生を酢の物にするなど。温かくても、冷たくても楽しめます。

愛知県経済農業協同組合連合会  
園芸部 東部販売課  
豊橋農業協同組合



### とうがんのワンポイント

☆選び方

・表面に傷や傷みがないもの、緑色は濃く鮮やかな色をしているもの。

☆栄養価

・ビタミンCは体の抵抗力を高め、風邪の予防などに効果があるとされています。

・体の塩分の排出を促進し、高血圧やむくみ改善に効果のあるカリウムが含まれています。

☆保存ポイント

・玉のままであれば冷暗所で長期保存可能です。カットしてある場合は皮とワタを取り、フリーザーバッグに入れて冷凍すれば約1ヶ月保存できます。



### 麻婆とうがん

- とうがん 400g
- 豚ひき肉 100g
- サラダ油 大1
- 市販の麻婆茄子の素 1袋

とうがんは皮をむいて種・ワタを取り約2cm角に切り、3分程硬めに塩ゆでする。熱したフライパンにサラダ油を入れ、豚肉を炒めて火を通しとうがんも炒める。麻婆茄子の素を入れて絡める。

約4人前

## イベント インフォメーション

### ◆愛知県で一番空に近い場所

愛知県最高峰である標高1,415メートルの茶臼山。愛知県北設楽郡豊根村と長野県下伊那郡根羽村にまたがる、雄大な自然を抱いた愛知県で一番空に近い場所だといわれています。

夏は涼しく、緑や風、水に親しむことができます。また、愛知県内では数少なくなってきたブナの自然林や四季の花など自然をたっぷりと

満喫しながらハイキングもできます。山頂展望台からは、奥三河や南アルプスの山々を望む360度の大パノラマも。

日常生活ではなかなか味わえない、ささやかな季節の移ろいを茶臼山で感じてみてください。

### ■お問い合わせ

茶臼山高原  
北設楽郡豊根村坂宇場字御所平70-185  
TEL: 0536-87-2345  
HP: <http://www.chausuyama.jp/>

## トミカ歴代名車コレクション



5月30日に「トミカ歴代名車コレクション」(隔週火曜日発売 全60号予定)を創刊いたしました。

本シリーズは、50年以上にわたって愛され続ける日本一のミニカーブランドである「トミカ」から発売された歴代名車の中から、タカラトミーが厳選した人気の60車種をコレクションしながら、各車種の詳細やトミカの歴史をマガジンで楽しむシリーズです。各モデルは発売当時の金型を使用したダイキャスト製で、カラーリングは未発売の新色を採用し、本誌でしか手に入れることができないラインアップとなっております。

創刊号 日産 フェアレディZ 432

ASAHI  
朝日新聞出版

B5判/24ページ 創刊号サービス価格 990円 好評発売中  
お近くのASA(朝日新聞販売所)がお届けいたします。

## 今月のプレゼント

ニュースを読み解く時代が解る

AERA (最新号)

3名様

※画像はイメージです

■応募締切:2023年7月10日(月)〈当日消印有効〉

### ■応募先

〒440-0015豊橋市牛川薬師町43-5  
いろは豊橋株式会社 「ASA生活情報便プレゼント」係  
FAX:0532-53-4633 E-Mail:asainfo@asa-tcc.com

※氏名・住所・電話番号を明記の上、郵送・FAX・E-Mailのいずれかでご応募ください。

## 東三河でよもやま話

### ◆新城市設楽原歴史資料館

設楽原決戦場を代表する「馬防柵」の再現地を見下ろす位置にある、新城市設楽原歴史資料館。長篠・設楽原の戦いは、歴史的に重要な合戦の場であることから、全国から研究者をはじめ多くの方が訪れます。



馬防柵を見学に来た人たちの「見所やもっと戦いについて知りたい」という声や、地域住民の「もっと勉強をしたい」という声に応え、平成8年に開館しました。

館内は、設楽原の戦いに関する多くの文献や資料、質・量ともに日本一の規模を誇る火縄銃の展示、鎖国下にあった江戸時代の日本を開国に導いた立役者である新城ゆかりの岩瀬忠震の紹介、設楽原の決戦の後、地域の人びとが戦没者を弔うために始めた火おんどりに関する紹介が常設展示されています。



館長・学芸員の湯浅大司さんは「有名な歴史上の人物も関わっていた教科書にも出てくる戦いであり、戦い自体も分かりやすい。昔のままの景色が残る、全国的にも珍しい地域です」と話します。また「過去の出来事ではありますが、人間模様などに関しては新たな解釈も生まれるため、歴史は常に変化しています。こうしたなか、地域の方々だからこそ知っている言い伝えなど貴重な話もしっかり聞き取っていききたい」と資料館としての役割を語ります。



「今後は、大学などの研究機関と地域をつなぎ、情報の共有や、資料館への反映にも力を入れていきたい」と地元だからこそできる形を目指す湯浅さん。

2025年には、長篠・設楽原の戦いから450年を迎えます。本質的な部分や戦いの裏側などを伝えていけるよう節目の年に向けて動き出しています。

企画展「しんしろ～家康紀行～」は7月16日まで開催中。



### ■お問い合わせ

新城市設楽原歴史資料館

新城市竹広字信玄原552 TEL:0536-22-0673

休館日:火曜日(夏休み期間中開館) 開館時間:9:00～17:00

HP:<https://www.city.shinshiro.lg.jp/mokuteki/shisetu/shiryokan/shitaragahara/yokoso.html>

## FROM 豊橋支局

### 魅惑の急行「ディスカパー飯田線号」

JR東海が今年5月、豊橋～飯田駅間で初運行した急行「ディスカパー飯田線号」に乗る機会があった。鉄道マニアではないが、仕事柄、「初めて」には興味がある。ただ、これまでの企画列車とどんな違いがあるのか、突き詰めて乗ると決めてしまった。

これはおもしろそうだと、思ったのは、駅を出て、まもなく差し掛かった豊橋運輸区を通り過ぎたとき。約20人の乗務員らが列

車に向かって一斉に手を降ってくれた。手作り風の車内アナウンスも、本長篠駅での乗客を乗せたままの列車の入れ替え作業も、鉄道好きにはきっとたまらないはずだ。停車駅を決めるときも、乗務員に意見を聞いたという。企画列車の運行に関わる乗務員たちの熱意に思いがけずに触れて、思わぬ拾いものをした気になった。

来年も運行する予定だそう。あの列車企画の手作り感、あなたにもぜひ味わって欲しい。

朝日新聞豊橋支局 支局長 戸村 登

## 豊川堂のおすすめ本

### 新しい知識との出会い 本の豊川堂

本店:豊橋市呉服町40 FAX:0532-54-6691

<http://www.housendou.com>

カルミア店・アピタ向山店・セントファール田原店・イオンモール豊川店

☎ 0120-412385



『ばかもの』

糸山 秋子

河出文庫/946円(税込)

「ばかもの」だからこそ、  
愛おしい

何を考えているかわからない年上の女性との劇的な別れから、アル中になり仕事も友だちも失くしてしまう最低最悪の主人公。片腕を失ったが以前より丸くなった彼女と、紆余曲折の末に再会。ふたりの間には穏やかな愛が芽生えます。たがいに足りないものを埋めあうかのように共に歩いていくラストの、思いのこめられた「ばかもの」に胸を撃たれます。読後感がとてもいい恋愛小説。



『正々堂々 私が好きな私で生きていいんだ』

西村 宏堂

サンマーク出版/1,430円(税込)

自分を愛して大切にすれば、  
世界は違ってくる。

LGBTQで、僧侶で、メイクアップアーティストでもあるという異色の経歴を持つ著者が、他人と違う自分を受け入れ、ユニークな自分として正々堂々と生きていく方法を提案。「普通じゃない」ことに苦しんできただけに、その言葉は強く響いてくる。「自分の気持ちに嘘をつくのは罪である」。仏教ではこういう考えもあるという言葉も添えられていて、実に前向きになれる一冊。

学校の沿革



- 昭和59年 愛知県教育委員会において、御津地区県立学校の設置を決定
- 昭和60年 募集定員、全日制課程普通科6学級282名と決定  
愛知県立学校条例の一部改正により、校名を愛知県立御津高等学校と決定
- 昭和61年 愛知県立御津高等学校開校  
第1回入学式挙行(282名入学許可)  
校歌制定  
愛知県立御津高等学校開校記念式典を挙行
- 昭和63年 平成元年度における英語科設置の決定
- 平成7年 創立10周年記念式典挙行
- 平成16年 文部科学省より「スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール」(SELHi)の指定を受ける
- 平成24年 平成25年度より、英語科を改編し、国際教養科の設置を決定
- 平成25年 愛知県教育委員会より「あいちスーパーイングリッシュハブスクール」の指定を受ける
- 平成27年 創立30周年記念式典挙行
- 令和元年 オーストラリアのウインダムセントラルセカンダリーカレッジ校と姉妹校提携
- 令和5年 愛知県立御津あおば高等学校へ校名変更  
全日制単位制普通科へ改編、昼間定時制の併置

昭和61年に愛知県立御津高等学校として開校し、令和5年4月に愛知県立御津あおば高等学校へ校名変更しました。これに伴い、全日制単位制普通科へ改編し、昼間定時制を併置。「Diversity多様性」「Inclusive包括性」「Global国際性」「Sustainable持続可能性」の4つのコンセプトとともに、「あおばブランド」として「学ぶ力」「使える英語力」「コミュニケーション力」の3つを掲げ、再スタートしました。多文化共生社会における持続可能な地域づくりに貢献する人材の育成を目指し、「幅広い知識と豊かな経験を身に付けようとする努力できる人」「異なる価値観や多様性を受け入れ、認め合うことができる人」「国際的な教養とセンスを土台として、グローバル社会で活躍できる人」を教育目標に掲げています。

全日制単位制の国際類型と普通類型、授業時間を昼間の4時間と4年間での卒業を目標とする昼間定時制(定員20名)があり、他課程の授業の受講や課程間の異動が可能な仕組みを特徴としています。平成元年に英語科が設置されて以降、愛知県の英語教育の拠点校として役割を担ってきました。その強みを活かし、現在も、国際類型を中心に英語に関連した行事や授業が多く、使える英語力の習得を目指しています。また、オーストラリア研修や近隣の小学校への出前英語授業といった活動も継続的に実施しています。一方、少人数制の昼間定時制では、一人ひとりにきめ細やかな対応を行いながら授業を実施しています。

幅広い分野に対応できるように部活動も今年度より見直しを実施。7年連続でバトン部が全国大会に出場、弓道部がインターハイ優勝するなどの実績を誇り、日々学業と共に目標に向かって邁進しています。



**ASA 朝刊配達  
スタッフ募集**

朝日新聞販売店では  
朝刊配達スタッフを募集しております

- ・時給 1,250円～
- ・労働時間 2:00～6:00の間  
(1時間から3時間まで、あなたのライフスタイルに合わせて時間を選べます)
- ・労働日数 週3日～

【時給例】

- ※週6日 3時間の場合  
1,250円×6(日)×3(時間)×4(週)=90,000円
- ※週5日 2時間の場合  
1,250円×5(日)×2(時間)×4(週)=50,000円
- ※週4日 1.5時間の場合  
1,250円×4(日)×1.5(時間)×4(週)=30,000円

詳しくはお近くの右記ASA販売店までお問い合わせ下さい。

【豊橋地区】

- ・ASA豊橋中央 TEL:0532-53-6918
- ・ASA二川高師台 TEL:0532-35-6381
- ・ASA豊橋西部 TEL:0532-39-6830

【豊川地区】

- ・ASA豊川東 TEL:0533-86-4519
- ・ASA三河国府 TEL:0533-87-3425

【蒲郡地区】

- ・ASA蒲郡 TEL:0533-67-0556

空いた時間を  
有効活用！  
シニアの方が  
活躍中！



掲載希望者募集中(無料)

「ASA生活情報便」では、スポーツや趣味・生涯学習などを通じて、楽しく元気に活動している方をご紹介しています。団体・個人は問いません。また、東三河地方のおすすめ情報も募集しています。掲載をご希望の方、情報をお持ちの方は、『ASA生活情報便 編集室』までご連絡ください。

発行元

いろは豊橋株式会社

〒440-0015 豊橋市牛川薬師町43-5

TEL:0532-53-6918

FAX:0532-53-4633

E-Mail:asainfo@asa-tcc.com